

おいしさの中心、安心の先頭へ。

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料



LIFEDRINK COMPANY

2026年8月13日

本資料の取扱い上の注意

本資料は、株式会社ライフドリンク カンパニー（以下「当社」といいます。）及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競争、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。また、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。

今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

株式会社ライフドリンク カンパニー
2026年8月13日

サマリー

2027/3期 第1四半期

増産・増収 ・営業増益

- 群馬ビバレッジ（以下「GBK」）の生産寄与及びNビバレッジ（以下「NBK」）の新ライン稼働などにより、生産数量は前期比21%増加
- 生産数量増に対応した販売先確保などにより、売上高は前期比30%増加
- M&Aに伴う一時的費用を含む各種コスト増加を、売上増加及び物流効率化などのコスト削減でカバーし、営業利益は前期比で29%増加

2027/3期 取組進捗

順調

- NBK新ラインのフル生産化は完了し、御殿場工場2号ライン工事も想定通り進捗
- 価格改定や仕様変更などの国産茶葉コスト高騰への対応、及びEC物流の複数拠点化などの物流効率改善の取り組みは順調に進捗
- 4/1取得のスキマデパート自販機事業は、各種課題に対する取り組みが進捗。なお、第1四半期にM&A費用1億円を販管費に計上

GBKの投資 内容更新

- GBK2号ラインの設備投資内容を更新し、投資額を増額（総額89億円に）
- なお、今回の設備投資には、大規模成長投資補助金（5次公募）を活用予定（第1四半期に補助金申請関連費用を営業外費用で計上）

1. 2027年3月期 第1四半期 業績

2.(参考)会社紹介

売上高

174億円
(前期比+30%)

営業利益

19億円
(前期比+29%)

EBITDA

27億円
(前期比+33%)

生産数量^{*1}

25百万箱^{*2}
(前期比+21%)

生産数量増加要因

- GBKの生産数量寄与
- NBK新ライン稼働に伴う生産数量増
- Oビバレッジ2工場（山中湖・日田）のフル生産

業績：2027年3月期 第1四半期

生産数量^{*1}の増加（前期比+21%）が寄与し、39億円の増収（+30%）。また、各コスト増を増収やコスト削減でカバーし、営業増益（+29%）となりました

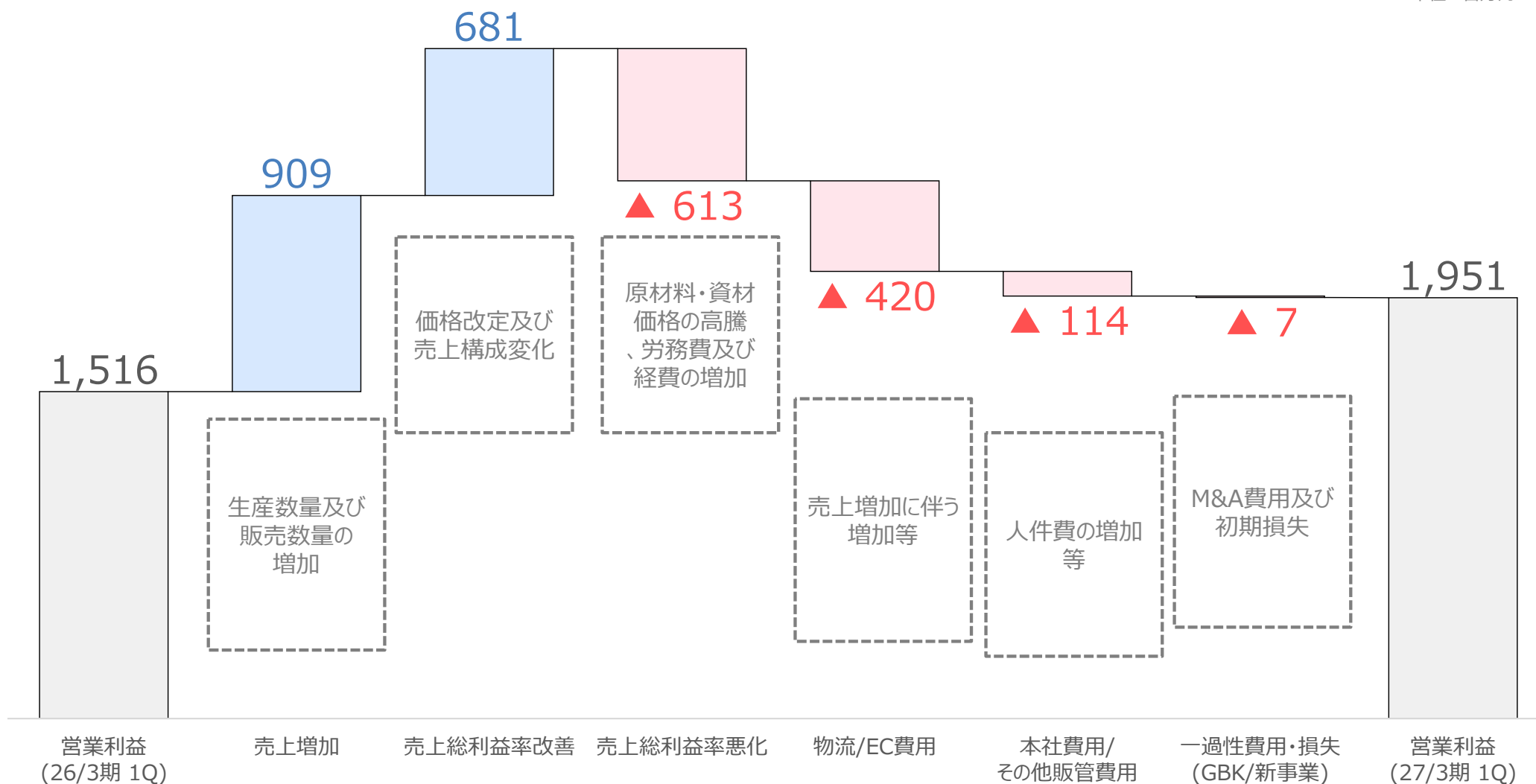
単位：百万円	2026年3月期 (第1四半期)	2027年3月期 (第1四半期)	増減 (対前期)	前期比
生産数量(百万箱)	21.0	25.5	+4.4	+21%
売上高	13,444	17,414	+3,970	+30%
営業利益 (率)	1,516 (11.3%)	1,951 (11.2%)	+434 (▲0.1pt)	+29%
当期純利益 (率) (EPS)	998 (7.4%) (19.09)	1,105 (6.3%) (21.30)	+107 (▲1.1pt) (+2.2円)	+11%
EBITDA (率)	2,047 (15.2%)	2,720 (15.6%)	+672 (+0.4pt)	+33%

*1：関係会社である生駒名水（株）の生産数量は含まず

業績増減要因：2026年3月期 第1四半期との比較

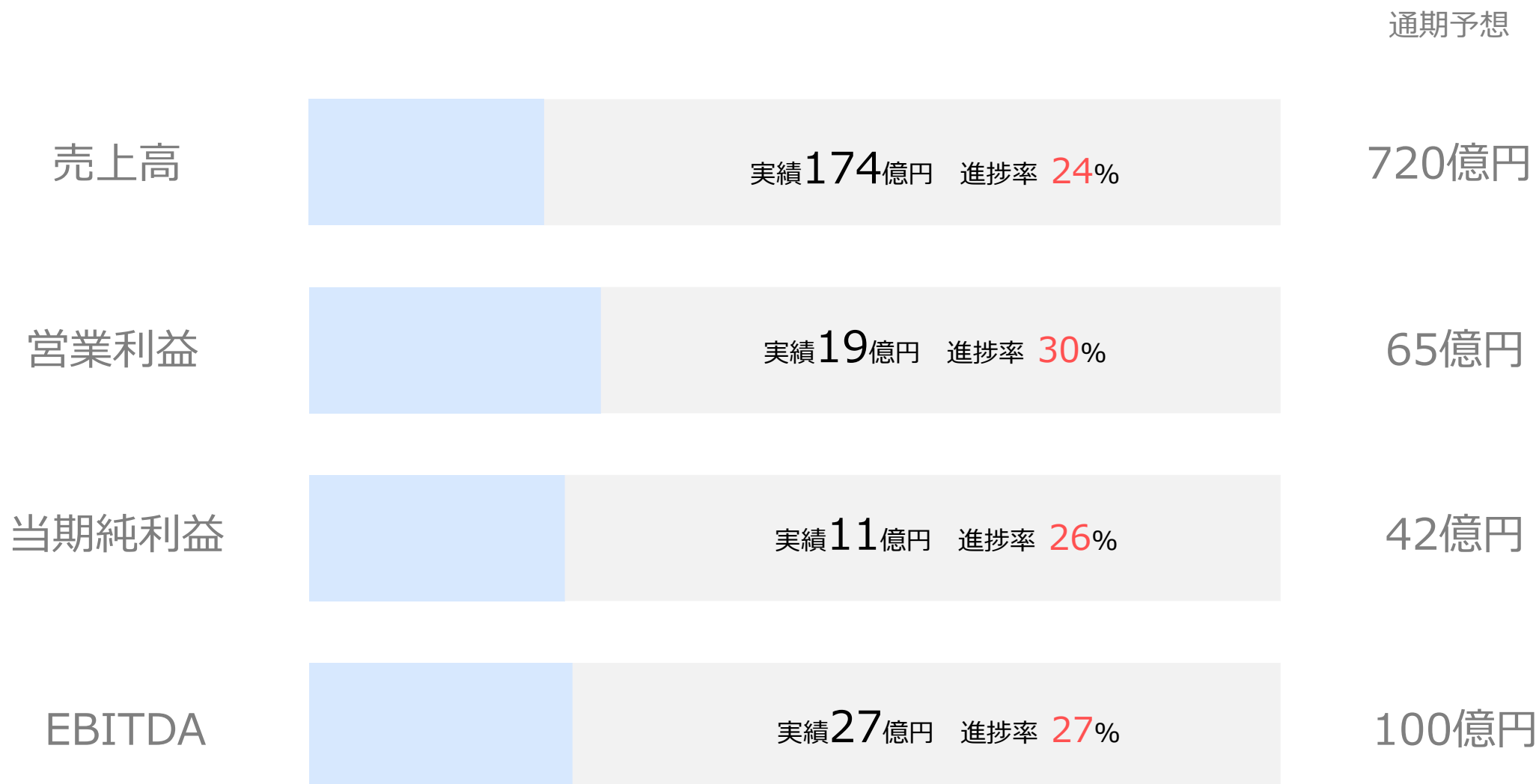
原材料費や労務費・人件費の増加及びM&Aに伴う一過性の費用を、増収、生産性向上及びコスト削減でカバーし、営業利益は前期比4.3億円増加しました

単位：百万円



業績の進捗：2027年3月期 第1四半期

通期予想に対する進捗率は、売上高が24%、営業利益が30%となっています



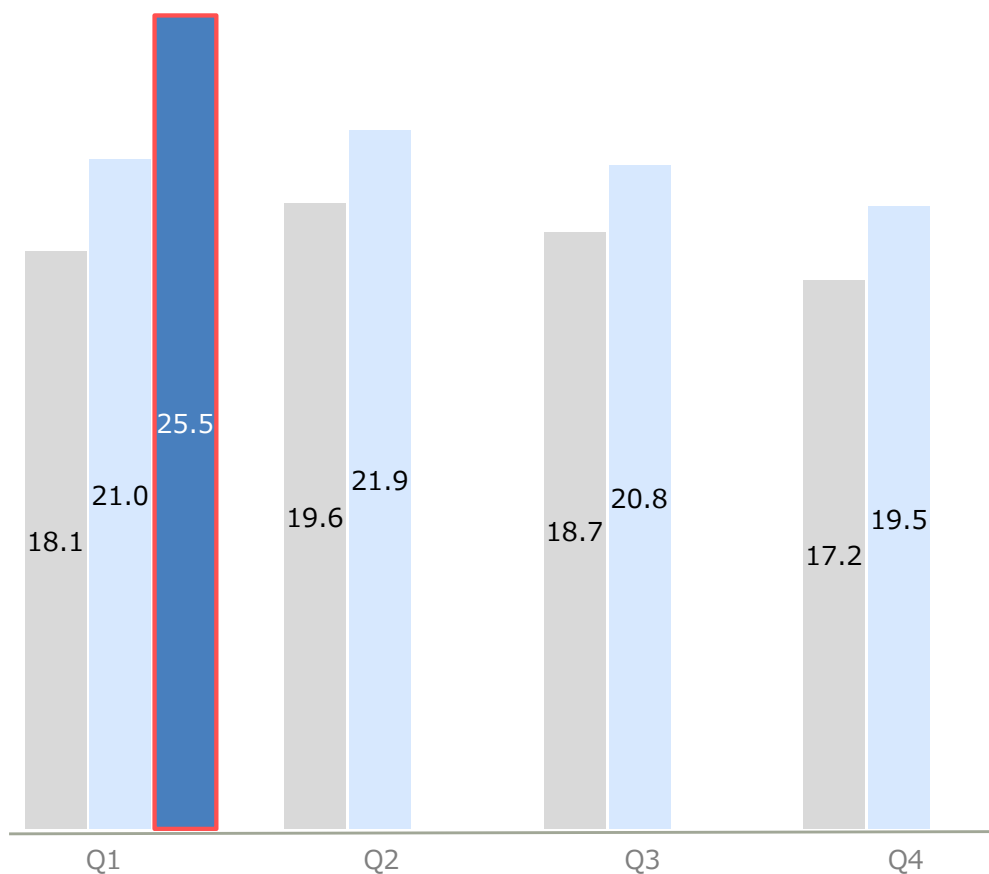
(参考) 四半期業績の推移 ①

■ 2025年3月期
■ 2026年3月期
■ 2027年3月期

単位：百万箱*1

生産数量

+4.4百万箱
(+21%)

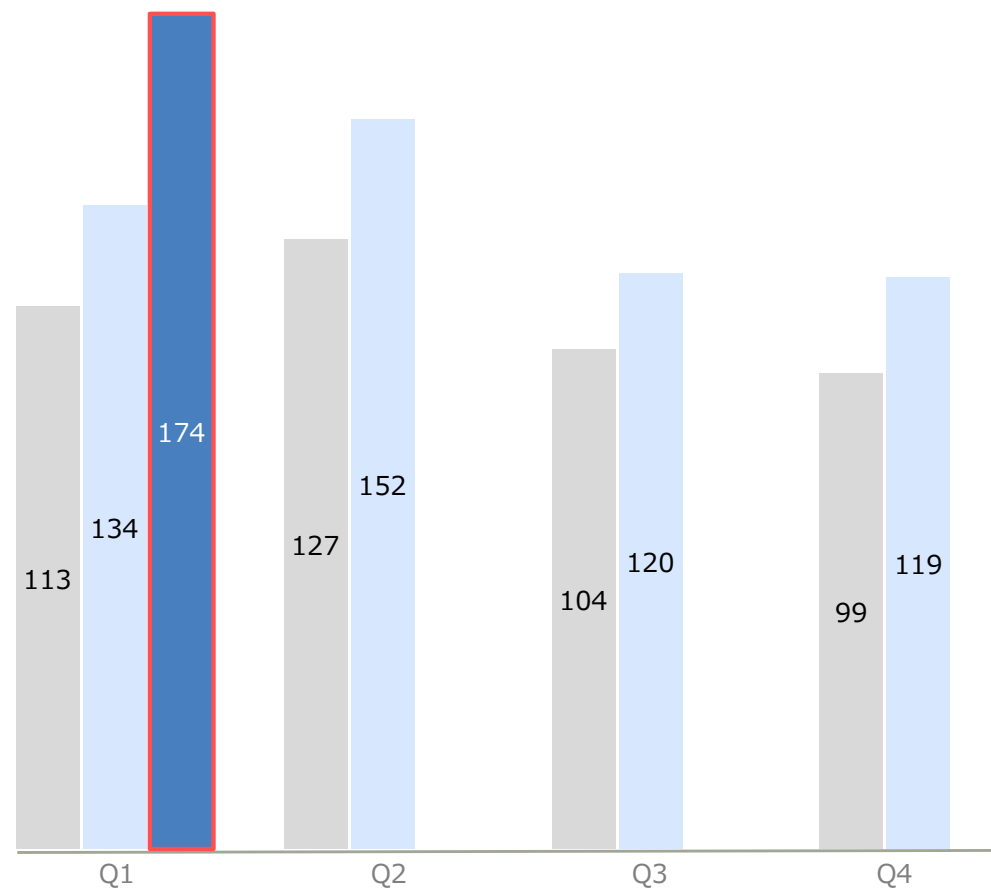


■ 2025年3月期
■ 2026年3月期
■ 2027年3月期

単位：億円

売上高

+39億円
(+30%)



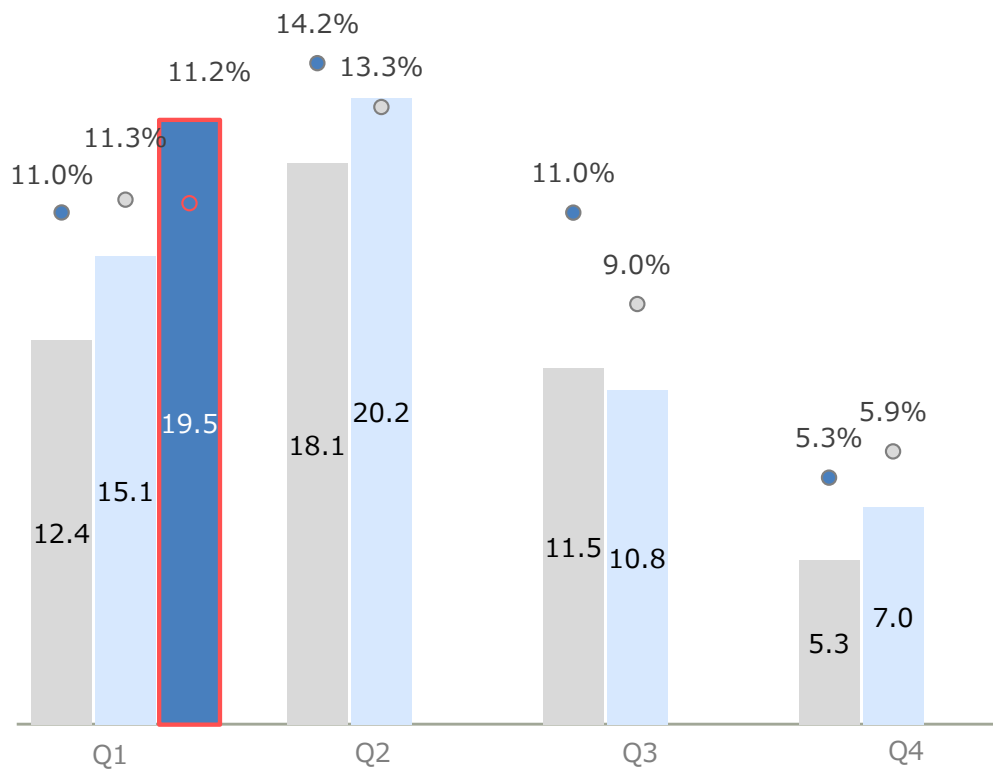
(参考) 四半期業績の推移 ②

■ 2025年3月期
■ 2026年3月期
■ 2027年3月期

単位：億円

営業利益/営業利益率

+4.3億円
(+29%)

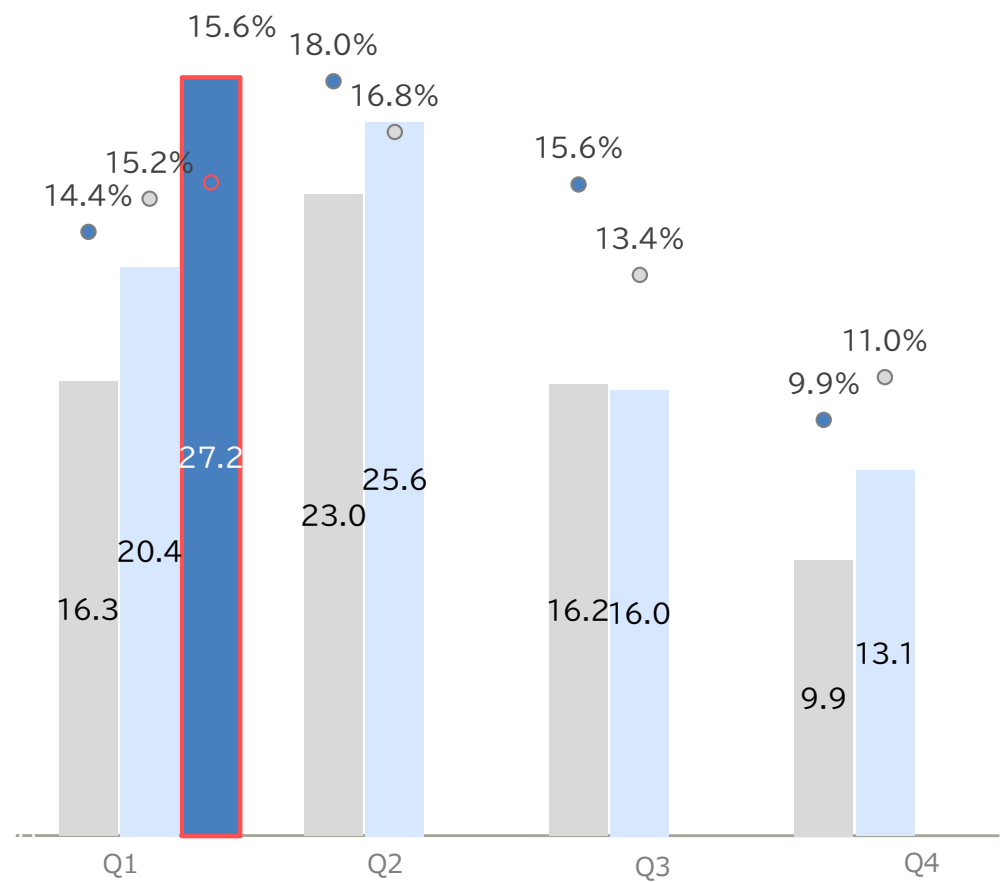


■ 2025年3月期
■ 2026年3月期
■ 2027年3月期

単位：億円

EBITDA/EBITDAマージン

+6.7億円
(+33%)



財政状態：2027年3月期 第1四半期

御殿場工場の設備投資やスキマデパート自販機事業取得に伴うのれん計上により、固定資産が前期末比76億円増加。また、投資資金を借入で賄ったことにより、純有利子負債が88億円増加しました

単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期 第1四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	15,817	34%	18,691	32%	+2,873
（現預金）	3,561	8%	3,922	7%	+360
固定資産	31,246	66%	38,942	68%	+7,696
資産合計	47,063	100%	57,634	100%	+10,570
流動負債	19,284	41%	24,444	42%	+5,159
固定負債	11,330	24%	16,297	28%	+4,967
（有利子負債）	22,920	49%	32,146	56%	+9,226
負債合計	30,614	65%	40,741	71%	+10,126
純資産	16,449	35%	16,892	29%	+443
負債及び純資産合計	47,063	100%	57,634	100%	+10,570
【参考情報】					
純有利子負債EBITDA倍率*1	2.5x	-	3.4x	-	+0.9pt

*1：EBITDA倍率は直近12か月の実績に基づく

成長投資の進捗

Nビバレッジの500ml水飲料ラインはフル生産化及び販売先の確保が完了し、御殿場工場2号ラインは計画通り下期に稼働予定。その他成長投資も計画通り進捗しています

単位：億円	成長投資計画*1		27/3期		PJ進捗
	総額	既支払額	計画	1Q実績	
既存工場 (岩手工場)	82	6	22	1	● 岩手工場ライン更新（+8百万箱/年。28/3期下期稼働予定） 順調に進捗 :設備選定が完了。新建屋の工事を開始
御殿場工場	66	24	44	20	● 500ml飲料ライン増設（8百万箱/年。27/3期下期稼働予定） 順調に進捗 :建屋完成、設備搬入済。試運転を開始
Nビバレッジ	59	39	20	11	● 500ml水飲料ライン増設（3百万箱/年。26/4稼働済） 垂直立ち上げを実現 :既にフル生産。販売も順調 ● 自動倉庫建設（27/3期下期稼働予定） 順調に進捗 :建屋完成、設備搬入中
Oビバレッジ	7	7	-	-	
群馬ビバレッジ (GBK)	139 (110) *2	34	18	-	● ポッカサッポロより群馬工場取得（2026/1） ● 投資第1弾：能力増強/ボトル内製化（27/3期下期稼働予定） 順調に進捗 :設備選定が完了。PF成型機の導入前倒しに ● 投資第2弾：ライン増設（6百万箱/年）と自動倉庫建設（保管能力約102万箱）（28/3期下期稼働予定） - 最大で29億円の補助金交付を受ける予定
合計	353 (324) *2	110	103	33	● 中期経営計画290億円と353億円の差異 ①26/5に開示したGBKの自動倉庫建設 +30億円 ②今回開示したGBK2号ラインの設備投資内容変更 +33億円

*1：2026年3月期～2029年3月期の成長投資計画。純額は交付を予定している補助金を控除した後の金額、既支払額は2026年3月期末までの累計額

*2：（ ）は補助金相殺後の投資純額

2027年3月期 トピックス : GBKの追加投資進捗

成長投資補助金も活用し、2号ライン再稼働に向けた投資内容を変更。変更後の新ラインは従来計画比で省エネ・省コストを実現しています

GBKの追加投資進捗

- 1号ライン能力増強・ボトル内製化（27/3期）
 - － ボトル内製化は2026/12完了（予定）
 - － 能力増強（600BPM→900BPM）は2027/2完了（予定）
- 2号ライン再稼働＋自動倉庫建設
 - － 2号ラインの内容を見直し
 - － 大規模成長投資補助金を活用

項目	従来計画	変更後
概要	休止ライン再稼働	ライン新設
充填方式	ホットパック充填	アセプティック充填（グリーンアセプティック充填）
コスト	—	低減
投資額（倉庫込）	56億円	89億円*2

大規模成長投資補助金（第5次）

補助金名称	中堅・中小・スタートアップ企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金
設備投資額	89億円*2（建物、設備費等）
金額	29億円（最大交付額*1） ●補助金控除後の60億円は、金融機関借入および自己資金で充当予定
完了時期	2028年3月期予定

*1：実際の交付額は、補助事業実施期間における投資実績や事業完了後の検査結果等に応じて変動する可能性がある
*2：P12の群馬ビバレッジの成長投資額139億円との差異は、補助金対象外である群馬工場の取得（能力増強含む）やボトル内製化投資

2027年3月期 トピックス：自動販売機チャネルへの参入

スキマデパートの自販機事業のPMIは課題に対する取り組みが進捗。ポッカサッポロの自販機事業は10月1日譲受に向けた準備が進捗しています

スキマデパート自販機事業（4月譲受）

PMI方針

- 現状のビジネスモデル（ミックス機×PB品/メーカー品×低価格）を維持
- ロケ獲得：自社開拓や同業M&A
- ルートセールスの採用・教育・育成によるオペレーション力の向上

取り組み進捗

- LDC製造の水・お茶・炭酸水の販売開始
- 大手小売企業への自販機設置営業
- 新札・新硬貨やキャッシュレス対応投資
- ルートセールス人財採用（5名増員）

ポッカサッポロ自販機事業（10月譲受）

PMI方針

- ビジネスモデルを転換(ミックス機×PB品/メーカー品×低価格/合理的な価格)
- ロケ精査：拠点毎に撤退・継続を判断
- ルートセールスの採用・教育・育成によるオペレーション力の向上

取り組み進捗

- 承継会社（PSボトラーズ）の設立完了
- 自販機システム変更など、事業基盤の整備
- ミックス機への転換計画を策定中
- ポッカサッポロとの業務提携内容の詳細化

2027年3月期 トピックス : ECビジネス

新たに「OZA SODAピーチ」と「彩茶-烏龍茶」を上市。また、「強炭酸水 OZA SODA」が楽天上半期ランキング2026「水・ソフトドリンクジャンル賞1位」を受賞しました

■ 新商品の販売(LDオンラインストア各店舗)

OZA SODA ピーチ

- 2026年7月発売



彩茶 -あやちゃ- 烏龍茶

- 2026年7月発売



■ 受賞実績

「強炭酸水 OZA SODA 500ml 48本」

「楽天上半期ランキング2026*1」

水・ソフトドリンク ジャンル賞 第1位



*1 : 集計期間 : 2025/9/30~2026/3/31

集計方法 : 楽天市場内の売上高、売上個数、取扱い店舗数等のデータ、トレンド情報などを参考に、楽天市場ランキングチームにて独自にランキング順位を作成

1. 2027年3月期 第1四半期 業績

2. (参考)会社紹介

会社概要

当社は大阪を本社所在地とし、「水」「お茶」「炭酸飲料」の製造販売を行うドリンク・リーフ事業を主たる事業としています

会社名	株式会社ライフドリンク カンパニー（英：LIFEDRINK COMPANY, INC.）
代表者	岡野 邦昭
創業	1950年（設立：1972年）
本社所在地	大阪府大阪市
事業内容	● ドリンク・リーフ事業－水飲料/茶系飲料/炭酸飲料・茶葉製品の製造・販売、農作物の生産・加工及び販売
事業所一覧	● 大阪本社・東京支社 ● 工場：飲料＝岩手、蔵王（山形）、栃木、富士（山梨）、御殿場（静岡）、尾鷲（三重）、美山（京都）、湯浅（和歌山）、耳納（福岡）、他＝知覧（鹿児島） ● 連結子会社：Nビバレッジ株式会社(富山県朝日町)、Oビバレッジ株式会社(大分県日田市/山梨県山中湖村)、群馬ビバレッジ株式会社(群馬県伊勢崎市)、LDアグリ株式会社(鹿児島県南九州市)、株式会社LDベンディング(大阪府大阪市)、株式会社SDボトラーズ(大阪府東大阪市) 他
従業員数*1	943名（161名） 2026年6月末時点
備考	東京証券取引所プライム市場（証券コード：2585）

*1：連結の従業員数。従業員数は末日時点の就業人員(社外から当社への出向者を含む)。臨時雇用者数(パートタイマー、人材派遣会社含む。)は、()外数で記載

沿革

当社は会社設立54年。2021年の上場以降、M&Aなどを通じて事業規模の拡大を実現しています



企業理念

当社は「おいしさの中心、安心の先頭へ」を企業理念として、「大切な人に、飲ませたいものだけを」を行動指針として活動しています

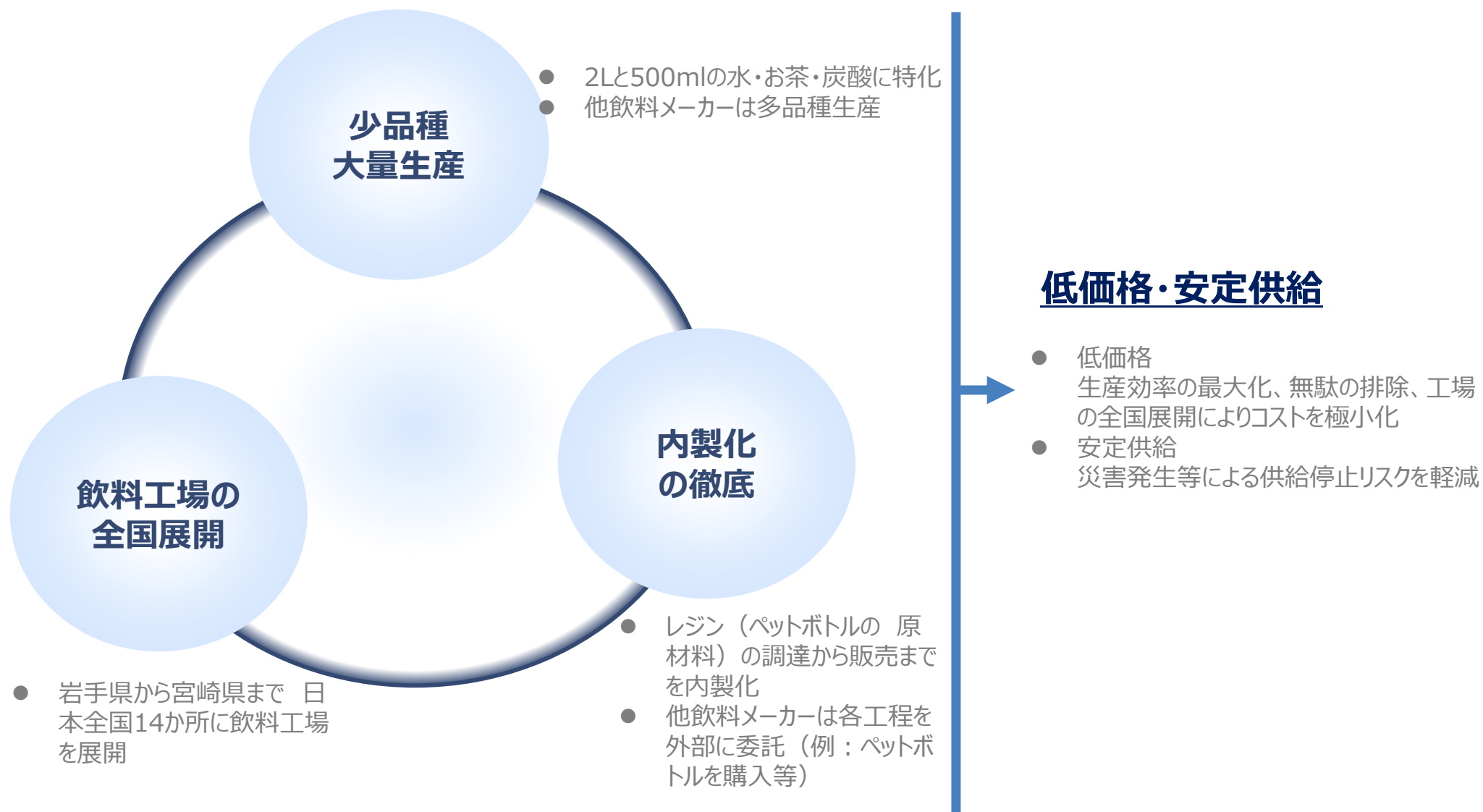
おいしさの中心、安心の先頭へ。

赤ちゃんからご高齢の方まで、
すべての人の“いつも”に寄り添える会社であるために。

株式会社ライフドリンク カンパニーは、
“おいしさのスタンダード”と“確かな安全性”を追求し、
朝起きてから夜眠るまで、毎日のあらゆるシーンで
選んでいただける味と品質を持った商品をお届けしていきます。

特徴と強み

当社は「少品種大量生産」「内製化」「工場の全国展開」により、「低価格」な飲料を全国に「安定的に」提供するという強みを有しています



特徴と強み：少品種化

当社は液種を水・お茶・炭酸飲料、容量を2L・500mlに集中。各工程で発生する無駄の極小化を実現しています



LDC 自然の恵み天然水
500ml/ 2L



強炭酸水 OZA SODA
500ml



LDC お茶屋さんの緑茶
500ml/ 2L



LDC お茶屋さんの烏龍茶
500ml/ 2L



彩水-あやみず-
500ml/ 2L

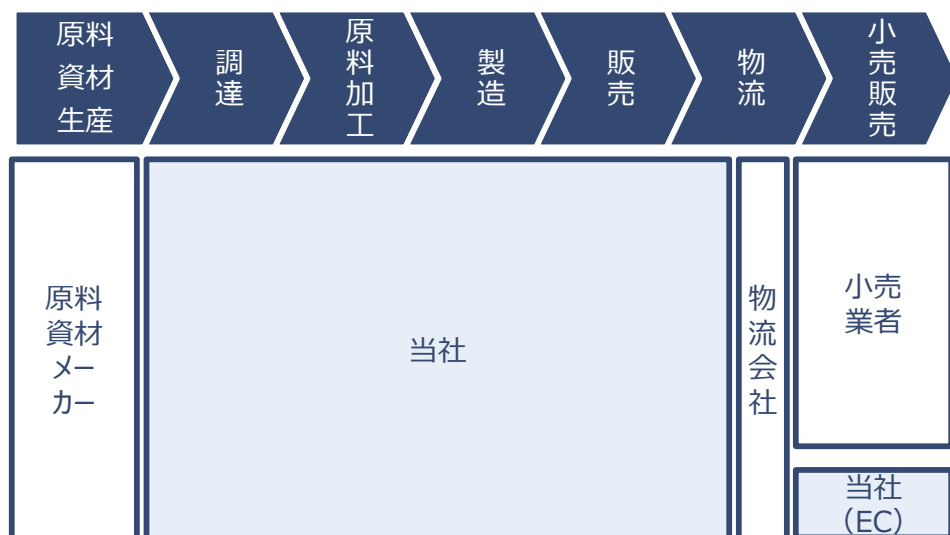


彩茶-あやちゃ-
500ml

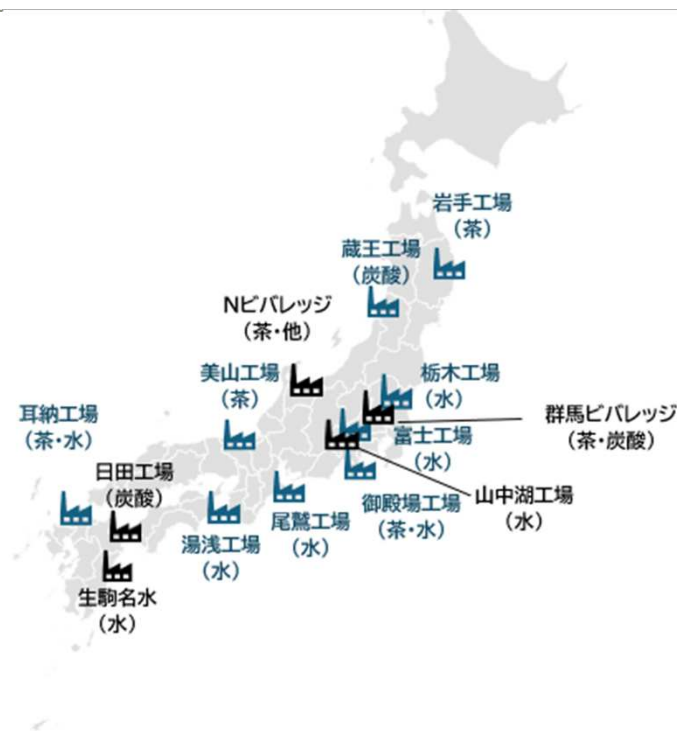
特徴と強み：内製化、工場の全国展開

当社グループは各工程の内製化により主に製造コストを低減。また、工場の全国展開により、物流費の抑制及び安定供給を実現しています

調達から販売までの内製化



飲料工場の全国展開

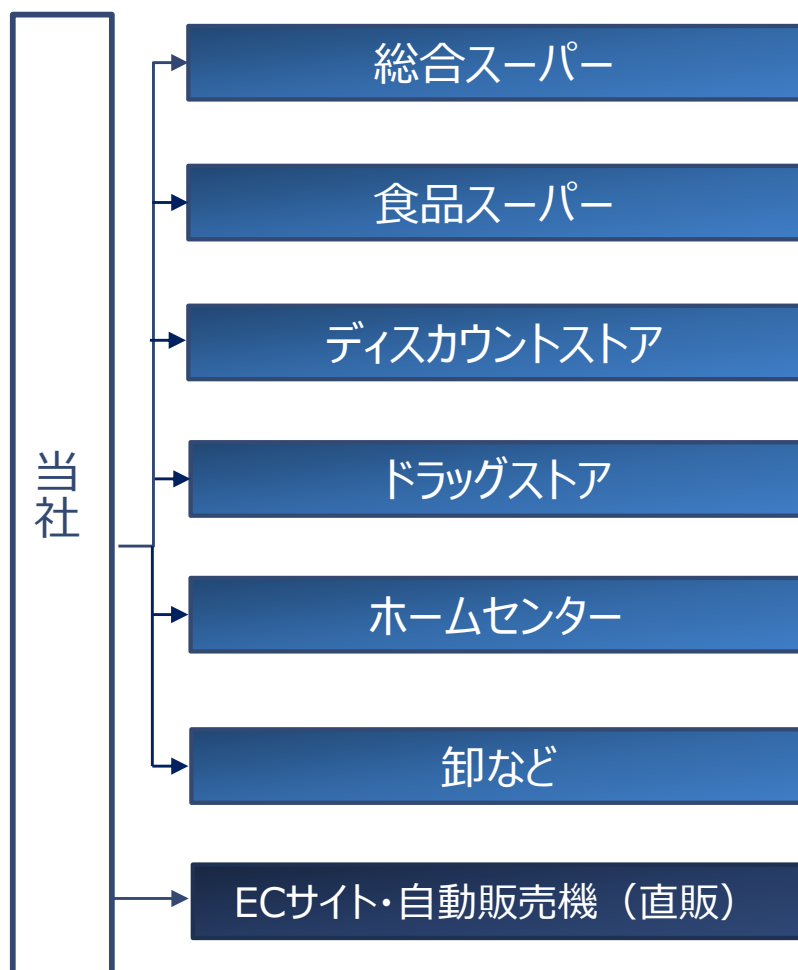


- 岩手工場 (岩手県)
 - 蔵王工場 (山形県)
 - 栃木工場 (栃木県)
 - 富士工場 (山梨県)
 - 御殿場工場 (静岡県)
 - 美山工場 (京都府)
 - 尾鷲工場 (三重県)
 - 湯浅工場 (和歌山県)
 - 耳納工場 (福岡県)
- 子会社／関連会社
- Nびバレッジ (富山県)
 - Oびバレッジ (大分県・山梨県)
 - 群馬ビバレッジ (群馬県)
 - 生駒名水 (宮崎県)

当社の販路：小売企業との関係、EC展開

各業態における主要な小売企業との関係を構築。EC事業は、主力商品や直営店舗が各モールの賞を受賞するなど、順調に拡大しています

小売企業との強固なパートナーシップ



EC展開によるダイレクトチャネルの拡大



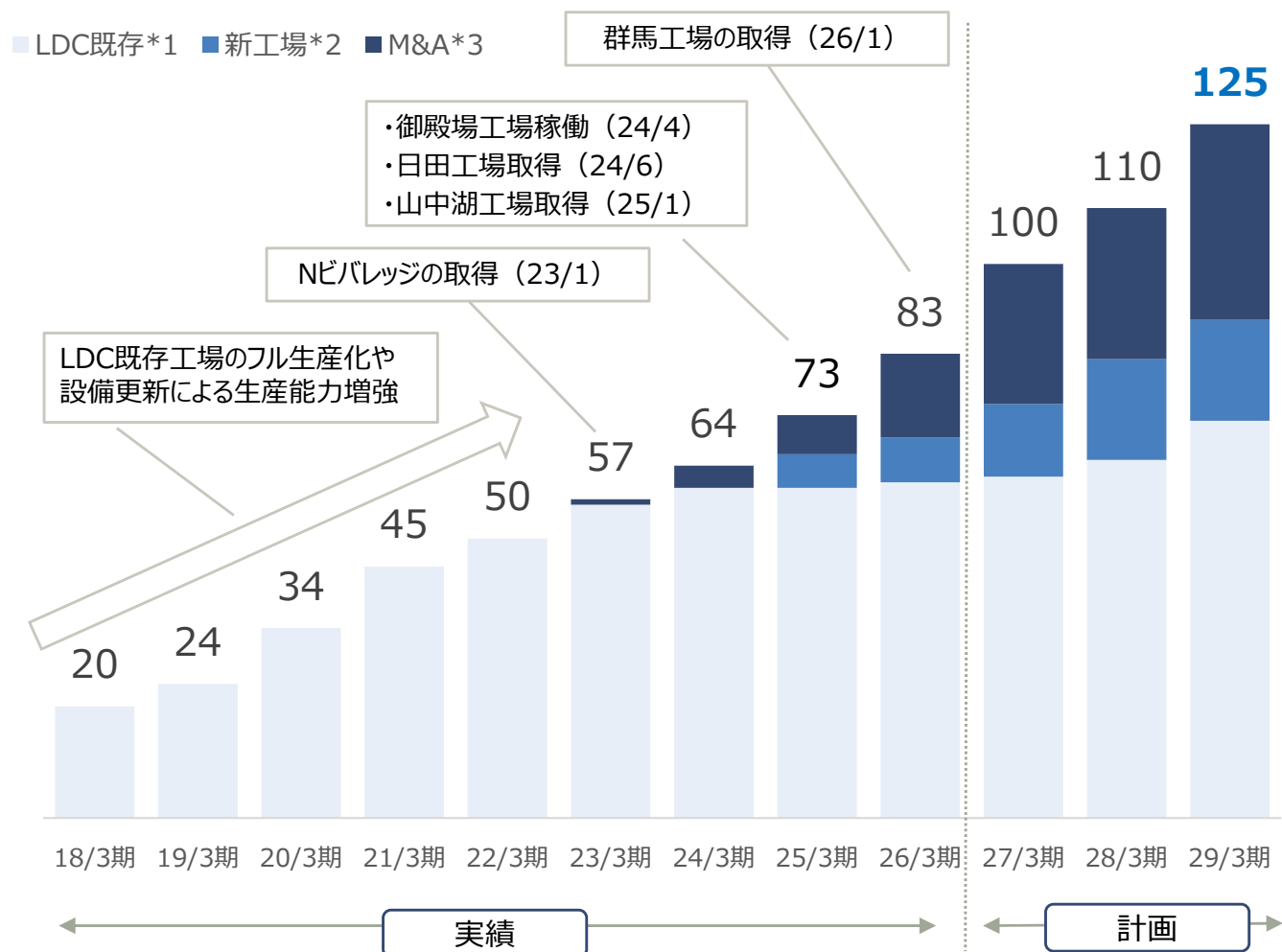
*1:集計方法:「楽天市場」に出店する全国5万店舗以上(2025年11月時点)の中から、ユーザーによる人気投票及び店舗の売上などを総合的に評価し、年間ベストショップを選出するもの

*2: 参照リンク: https://www.amazon.co.jp/b/?ie=UTF8&node=206875745051&ref_=spr26

中期経営計画：生産数量

増産への取り組みを着実に実行し、2029年3月期の生産数量125百万箱（25年3月期比+51百万箱）を目指します

生産数量の推移（単位：百万箱）



今後の増産の取り組み

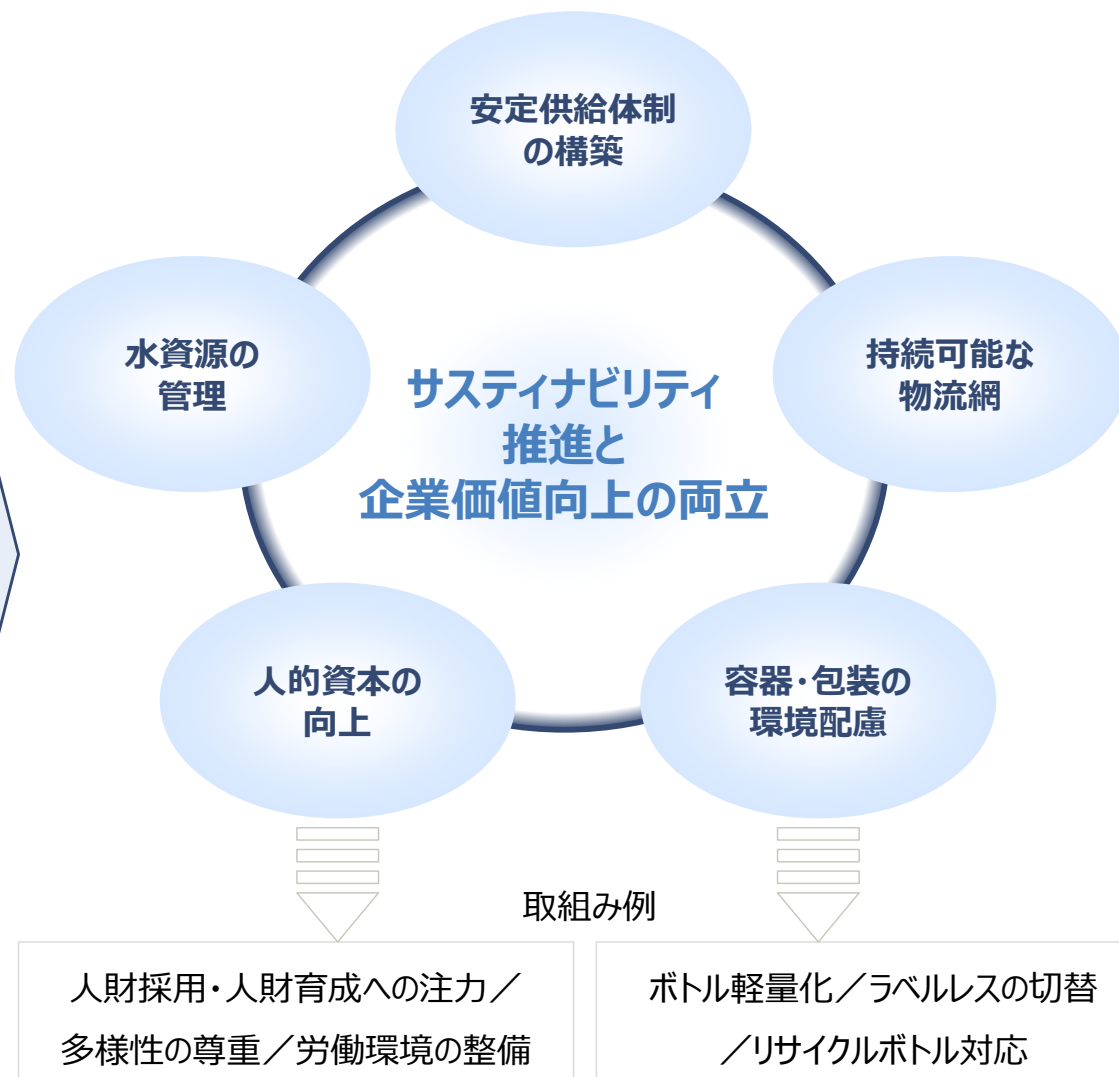
- 27/3期**
 - 26年4月：Nびバレッジ新ライン稼働
 - 27年3月期下期：御殿場工場 新ライン稼働
群馬工場 能力増強①
 - 28/3期**
 - 28年3月期下期：岩手工場ライン更新
群馬工場 能力増強②
- +
- 計画未反映**
 - M&Aによる生産能力獲得

サステナビリティに関する考え方及びマテリアリティ

基本方針に基づき、より長期的な視点から「サステナビリティ推進と企業価値向上の両立」を目指します

基本方針

高品質で安全・安心な
飲料・食品を安定的に供給する
ことを通じて、消費者の生活
インフラを継続的に支える
社会的責任を果たす



LIFEDRINK COMPANY
